1 施設状況・3	事業』	又支									
施設名称		長泉町ワークプラザ									
所管課:部門			(所属名)					グルー		担	4
都市環境部門 産業振興課 指定管理者名						にぎわい企画チーム 佐野 孝明 代表者					孝典
公		理事長 内田将善									
会和	9年4	指定期間 月1日から令和7年3月3	1 FI		年) 年	料金制度適用					
法令根拠等		長泉町ワークプラザの設置及び管理等に関する条例及び規則									
施設設置目								whit 가고	シベノカ	に安とする	
		高年齢者の就業を促進し、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する。									
施設概要 —————		設置主体:長泉町	敷地面積(社 里 場 [®]	3 년)	1, 370. 29	m	延床 [面積 34	2. 3 m	
施設の主な実施	事業	臨時的かつ短期的な家 保及び提供、職業紹介									
		利用区分等	予定(計	画・目標	Ę)	利用実績		対前	前年比	目標達成率	評価
		者数 (人/日) 1階			<u>ا</u>	17					%
	利用	者数 (人/日) 2階				7	人人		% %		% %
施設利用状況					}		入		%		%
					ᄉ		人		%		% 3
					ᄉ		人人		% %		% %
					Ž		人		%		%
(特記事項)	• 利	用者数は、利用状況等	報告書の各門	皆利用ノ	人数計を	利用日数で	で除し	.、四推	孟入し	た数	
											評価
			算額	7百		項目		実績	額	金額	
		項目 利用料収入	金額	<u>損</u>	0 利月					並祖	0
		受託金収入		755,000		E金収入				755, 0	
		経理区分間収入 前期末支払資金残高			0 経理	経理区分間収入		-			0
	ιl ω	<u> </u>	0		U 月15	前期末支払資金残高			U		
	収入										
											_
		計		755, (000	計				755, 0	00
		人件費		100,	0 人作	‡費				100,0	0
		事務費		0.00	0 事	务費				007.0	0
事業収支		電気代 ガス代			000 電気 000 ガン					297, 2 20, 9	
(単位:円)		上下水道代		17, (000 上	下水道代	- 水道代 警備			17, 1	50 3
		夜間警備			000 夜間				264, 00 224, 61		
		清掃費 その他事業費		194,	000 清排 その	<u>*資</u> D他事業費				224, 6	19
	١.	C - A C - A				10 17/00					
	支出										
	ш										
		計		755, (000	計				824, 0	23
	収支	計			0	計				-69, 0	23
		」 協定時の配		配置実績				評価			
		:局長 1名					1名				
	職員嘱託	4名 職員 2名			職員嘱託		4名 2名				
職員配置	7/≖g ∏ L	- 1945× 4 - 1	小村日		□ ^∐						
拟貝託世											3
	施設金	管理運営に必要									
	な人員	員が適切に配置 <mark>協定時の</mark>	配置予定と同	同数の配	置を行	い施設対応	の充	実を図	っている	5.	
	10 Th	ていたか									

2 事業の実施状況			
区分	目標(協定内容・指定管理者提案)	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
町指定事業	ワークプラザの利用に関する業務 施設の維持・管理に関する業務 その他町長が認める管理業務	特記なし - - - -	3
自主事業	 初心者のスマホセミナー 2回20人 ・家事援助スタッフ講座 1回6人 ・マンション管理講座 1回13人 ・キャリアアップ研修 2回42人 	新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、不特定多数の集まるイベント(ふれあい文化祭)が元年度に引き続き中止となり、20人以上の研修等が中止となったため、利用者数が減少した。	

3 指定管理者業務の実施状況の確認(管理運営全般)							
確認項目	実施状況	評価					
利用者の公平性の 確保	規則に基づき、使用しようとする日の属する月の2カ月前から使用日の3日前までに、長泉町ワークプラザ使用申請書を提出してもらい、施設利用が重複した場合には双方と協議を行い空いている部屋の利用を促している。	3					

18	区分	D実施状況の確認(個別業務) 実施内容		評価					
施設	協定・仕様等の確認	・清掃管理 ・夜間警備業務 ・簡易修繕 ・消防設備点検 ・施設内の巡回 ・電話消毒							
の維持管理	実施計画検証	・清掃業務 定期的に清掃業務が行われており、施設の衛生管理に努めていた。 ・簡易修繕 協定書第13条に基づく施設の修繕はなかった。 ・施設内の巡回 日常点検の他、悪天候後の施設巡回及び報告が適切に行われていた。 ・夜間警備業務 毎日の夜間警備業務が行われていた。 ・消防設備点検 機器点検、総合点検が年2回行われていた。 ・電話消毒 月1度の消毒作業が行われていた。							
サ	協定・仕様等 の確認	・来場者への情報提供							
ビスの維持向上	実施計画検証	利便性の向上 会議室に棚を設置し、材料等の整理整頓を行えるように配慮されていた。 情報提供 施設内の掲示板を常に最新の状況とすることで、来場者への情報提供に努	めていた。	3					
危険管理対策	協定・仕様等の確認	・危機管理体制のマニュアルの構築 ・施設内における人身事故の対応 ・個人情報の取扱いにおける管理 ・業務上の瑕疵により生じる損害賠償力の確保。							
	実施計画検証	危機管理体制 危機管理マニュアルの策定及び定期的な訓練が行われていた。 事故等の対応 定期的に応急講習を受講し、事故発生時に対応できる能力を身に付けている。 個人情報 個人情報保護に配慮して、事務所内に外部の者を入れないようにしている。 損害賠償力の確保 業務上の瑕疵による損害に関し、対応できる保険に加入している。	5.	3					
	協定・仕様等 の確認	・町への定例報告							
その他	実施計画検証	定例報告 施設の利用状況及び施設の運営に要した費用の報告書を作成し、長泉町に掲	出している。	3					

モニタリング評価調書

5 利	用者評価								
	区分		内容			評価			
	利用者アンケー・	実施有 未実施	各講座) アンケート調査 座 (スマホセミナー、家事援助スタッフ講座、マンション管理講座、キャリアアップ研 に対してアンケートを実施した。					
利用者評価	- 要望・苦情 の評価・	(1 ・ワで・(2 施	ンケー クプラヤ たと好記 設につい ご設名	ザで講座を開催したことで、ドコモやソ 呼だった。 いては、使いやすいが85%で、昨年より ・改善等の要望事項 主な要望	(対応)	3			
		空	調設備	年が経過していて、冷暖房の効き目が	令和2年1月、事務所のエアコンが使用不能となったが、フロンを使用した同型のエアコンは、製造されていない為、町予算で付け替えを行った。又残り6台は基本協定13条により町予算で令和3年度から順次付け替え。				

6 担当課評価

	評価区分	評価	総合評価	評価理由			
	施設利用状況	3	-				
	事業収支	3					
	職員配置	3		施設の利用状況については、1階部分は目標を上回っている			
総		3		が、2階部分は新型コロナウイルス感染症の影響により大人数が集まることができず、目標を下回っている。			
수 함		3	\mathbf{C}	事業収支については概ね予算通りであるが、電気代や清掃費 (人件費)が上がっているため収支はマイナス69,023円となっ			
価	施設の維持管理	3	U	た。			
	サービス向上	3		え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための取り組みも行っている。			
	危機管理対策	3		110 (110)			
	その他	3					
	利用者評価	3					

取り組みに対現状の適切な施設管理を継続して実施するよう指示した。

| する指示事項 | また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大人数での施設利用の抑制や来所時や勤務時の 及び改善案等マスク、消毒の徹底を指示した。

【指定管理者自己評価】

指定管理者自己評価

(1) これまでの取り組みに対する評価

I 利用増加への取り組み

- ・令和2年8月よりホームページのリニューアルを行い、リアルタイムの更新が可能になった事から、施設や講座の情報、高齢 者に関心のある情報発信を行い利用者増加を図った
- ・ドコモ、ソフトバンクに講師を依頼して、初心者のスマホセミナーを開催。各10人の受講者に対して、講師1人とアシスタン ト2人を配置、きめ細かな講座を企画したことから受講者に好評で、次回の講座開催にも役立てていく
- ・60代の就業希望者に人気のある「マンション管理講座」を13人の受講者で開催する事ができた。今後も人気のある講座を 開催して利用者増加を図っていく。
- ・階段の踊り場に、シルバーギャラリーを設置して、写真同好会の写真を展示する事で、利用者増を図っている。

Ⅱ コスト削減に対する取り組み

- ・エアコンフィルターの清掃を年2回行い、熱効率を上げている。
- ・利用しない部屋、通路の積極的な消灯を図っている
- ・会議室等の貸館業務において、開始・終了時間を申請書で確認し、使用後のエアコン、窓の戸締り、ブラインドの開閉、イ スや机の整理整頓等を確認するなど、無駄を省きコスト削減に努めている。
- ・修繕、備品等の簡易な修繕はシルバー人材センター会員が行って、コスト削減に努めている。

Ⅲ その他

- ・令和2年1月16日に国内初の新型コロナウイルス感染者が確認されてからマスクが品薄になり、政府も3月に高額取引のマスク転売を禁止する事態となった。このためシルバーの自主事業班「リフォームひまわり」の会員2名が中心となり安価なマスク の制作を開始、3月18日には350円(その後180円に値下げ)で会員1人当たり2枚までの販売を開始、その後3月24日からは一般 への予約販売も開始。当初1日40枚の制作が限度だったものが、協力会員を8名に増やし、ワークプラザの2階会議室と1階応接 室を製作室として貸し出すことにより、160枚/日までの製作が可能となり5月末までに2,500枚のマスクを、困っている方々に
- ・職員、会員により施設周辺を清掃し、環境美化に努めるとともに併せて建物外観の状況を確認している。

また、年末には会員ボランティア(約40人)にも協力いただき、館内大掃除を行っている。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・現在のWi-Fiは、フリースポットを利用しているが、1回の使用が制限されているため、スマホの講座を開催するには不便 で、又講師も同様である。このため今後スマホ講座を開催するにあたり、Wi-Fiの設置は不可欠だと思われる。

(3) 次年度以降の取り組み

- 介護関連事業の拡大を視野に、お仕事や仲間づくりを通じた健康で介護にならないためのノウハウや、介護状態になっても 自分らしく生きられる知識を習得するための講習会を開催していく
- ・今後、高年齢化は益々進み、元気な高齢者が増えることから、関心の高い就業講座を開催し、技術を習得して就業すること こより、高齢者福祉の増進に寄与していく。
- ・新型コロナウイルスの感染防止策を図りながらも、少人数でも、仲間同士の交流が図れる方法を模索して、安全で人生を楽 しめる居場所づくりを進めていく。